

平成24年5月29日

読書感想文指導のために

長野県図書館協会小中学校図書館部会

青少年読書感想文全国コンクール審査基準

1974年12月23日制定

2005年4月1日改定

2008年4月1日改定

- 応募規定にあっているか。
- 発達段階に応じた適切な本を選んでいるか。
- 読書のよろこび、楽しみが感じとれるか。
- 広い視野から作品を評価しているか。
- 登場人物の心情や、作品の語っているものを的確にとらえているか。
- 著者の論旨を的確にとらえているか。
- 事実と著者の意見とを区別してとらえているか。
- 自分の意見・感想を率直に述べているか。
- 自分のことばで表現しているか。
- 発達段階に応じた考え方が表現されているか。
- 規定の文字数を十分に生かし、自分の思いを表現しているか。
- 読書によって得た自己の変革がみられるか。

※平成20年度より、「青少年読書感想文全国コンクール審査基準」が改定され、『規定の文字数を十分に生かし、自分の思いを表現しているか』が加えられました。
※全国コンクールには、長野県読書感想文コンクールの入賞作品より出品します

1 長野県読書感想文コンクール審査で課題と思われること (読書感想文県審査委員会)

- ◆自分の実際の体験を入れている作品が多かったが、子どもの実体験に重きを置きすぎて肝心の本の内容から離れてしまい残念な作品も見られた。
- ◆子どもたちがどこに着目して書いて良いか迷い、視点がはっきりしない作品も見られた。子どもたちの考えをはっきりさせていく指導が大切だと思われる。
- ◆普段の会話の中ではよいが、感想文にはふさわしくない言葉や言い回しが少し気になった。
- ◆言葉が重複していたり、文法的な誤りがあるものは指導したい。
- ◆自分の感想や、意見を素直に表現されている作品がたくさんみられたが、中にはあらすじがほとんどで、そこに感想を書き足していくという作品も多かった。あらすじを書いた後で感想を述べるような構成ではなく、「はじめ・なか・終わり」を意識した構成を考えて文章を書かせたい。
- ◆誤字・脱字があり、指導が入っていないと思われる作品があり残念に思う。推敲し清書した作品を出したい。
- ◆作者の素晴らしさを讃えた後に、自分だったら「できない」とか「いやになる」「あきらめてしまう」などと述べている作品があり気になった。また、作品から離れて、自分のことを書きすぎて、生活文や意見文になってしまっている作品もあり気になった。
- ◆一般的な感想ではなく、自己の変革に迫るところまではいかなくても、自分に引き寄せて、その子なりに一生懸命に考えたことが伺える作品を期待したい。
- ◆今後更に感想文のレベルを高めて行くには、段落構成をどのようにするのか、書き出しをどうするか、感想はどこにどのようにいれていくのかよく考えて書くことが重要である。書きながら自己とどのように向き合っていたのか、また今後どのように向き合っていくのか、そこを見つめる作品が増えてほしい。

2 「本はともだち」 (毎日新聞)

◇推薦課題図書選定委員(小低・小中・小高・中学)の執筆で、7月に順次掲載されます。読書感想文の書き方の参考としてください。